



## 原子力災害への協力体制を構築

東海村民の広域避難に関する協定を締結

原子力災害時における東海村民の広域避難に関する協定締結式を3月29日に行いました。この協定は、東海村や周辺地域で原子力災害が発生した場合に、取手市・守谷市・当市で東海村からの避難者を受け入れるなど、広域避難を円滑に実施するため協定を締結したものです。今後は、この協定に基づき、3市1村合同での避難訓練を計画するなど、協力体制の構築を進めていきます。



## 市内の桜が満開に

市内各所で花見を楽しむ姿

桜が見頃を迎えた4月6日、福岡堰やきらくやまをはじめとした市内各所が、多くの花見客でにぎわいました。絹の台桜公園では、芝生の上にシートを広げ、家族や友人と花見を楽しむ姿も。吉田彩さん(取手市)は夫と0歳の娘とともに来訪。「結婚するまで市内に住んでいた。桜公園は子どもの頃よく遊んだ思い出の公園。娘にもこの桜を見せてあげたかった」と笑顔を見せてくれました。

## 安全運転をお願いします

春の交通安全キャンペーンを実施

春の全国交通安全運動に合わせ、運転者に安全運転啓発を行うため、4月12日に伊奈庁舎入口交差点から県立伊奈高校までの区間で、春の交通安全キャンペーンが行われました。今回は、伊奈高校の生徒たちも参加し、安全運転を呼びかけました。参加した田淵龍馬さん(2年)は「自分も自転車通学をしている。これを機に交通事故が少しでも減ってくれたら」と話してくれました。



## 期待に胸を膨らませ

市内の小学校で入学式

市内の小学校で4月7日、入学式が行われ、517人の新1年生が真新しいランドセルにたくさんの希望を詰め込んで、学び舎の門をくぐりました。小張小学校では、14人の新一年生がこれから始まる学校生活の期待に胸を膨らませ、少し緊張した表情で入学式に臨みました。担任の先生から名前が呼ばれ「はい」と元気に返事をする姿に、保護者席からは温かいまなざしが向けられていました。